

2018 年度 (対象年度 : 2017 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準1	理念・目的
-----	-------

総評	
0101 (2)	国際人間学研究科 (国際関係学専攻、言語文化専攻、心理学専攻、歴史学・地理学専攻) の教育研究上の目的は、教育組織に対して特色を明確に設定していることは評価できる。 [0101・0102b]
0101 (3)	大学の基本理念・使命・教育目的を明文化し、国際人間学研究科 (国際関係学専攻、言語文化専攻、心理学専攻、歴史学・地理学専攻) が育成する人間像を明確に設定していることは評価できる。 [0101・0102b]
0101 (4)	国際人間学研究科 (国際関係学専攻、言語文化専攻、心理学専攻、歴史学・地理学専攻) の教育研究上の目的と、大学の基本理念・使命・教育目的は関連していることは評価できる。 [0101・0102c]
0102 (1)(2)	国際人間学研究科 (国際関係学専攻、言語文化専攻、心理学専攻、歴史学・地理学専攻) は、「人間像、教育研究上の目的」を、学生便覧、大学ホームページ、学内ポスター等で明示していることから、適切に周知・公表されていると判断する。 [0101・0102b] [0101・0102c] [0101・0102d]
長所・特色 <簡条書き>	
特になし	
留意点 <簡条書き>	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0102	2018 年度は、向上・改善に向けた取り組みと、人間像、教育研究上の目的など、積極的に周知していただきたい。【B】

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2018 年度 (対象年度: 2017 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準2	内部質保証
-----	-------

総評	
<p>0203 (4) 毎年度実施する教育活動重点目標・自己評価シートおよび教員活動報告自己申告書からの内部質保証に対するシステムが構築されているところは確認できるが、次年度は、組織としての外部評価（学内内部評価を含む）を、実施していただきたい。</p> <p>なお、今後の自己点検・評価の実施に当たっては、指標・方法などの検証を行い、箇条書きでなく、第三者が理解できるような記述としていただきたい。</p>	
長所・特色 <箇条書き>	
<p>特になし</p>	
留意点 <箇条書き>	
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="padding-left: 40px;">【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p style="padding-left: 40px;">【B】・・・検討を要する事項</p>	
0203	個人の教育活動自己点検結果を、組織的活用の促進に取り組んでいただきたい。【B】
0203	認証評価を視野に入れた、学外者の評価や意見の活用等を促進していただきたい。【B】

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2018 年度 (対象年度 : 2017 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準4	教育課程・学習成果 (1)
-----	---------------

総評
<p>0401(1)・0402(1)(2)(3) 授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を定め、大学ホームページにて広く公表している点は評価できる。[0401・0402a] [0401・0402b] [0401・0402c] [0401・0402d]</p> <p>0402 (4) 卒業認定・学位授与の方針 (DP) と教育課程編成・実施の方針 (CP) は適切な連関性と、「卒業認定・学位授与の方針 (DP) 」⇔「教育課程の編成・実施方針 (CP) 」との整合について検証を行い、今後は、第三者が理解できるような記述としていただきたい。[0401・0402a] [0401・0402b] [0401・0402c] [0401・0402d]</p> <p>0403 (1)(3)(4)(5)(6)(7) 次年度の自己点検・評価の実施に当たっては、指標・方法などの検証を行い、箇条書きでなく、第三者が理解できるような記述としていただきたい。</p>
長所・特色 <箇条書き>
特になし
留意点 <箇条書き>
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="margin-left: 200px;">【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p style="margin-left: 200px;">【B】・・・検討を要する事項</p>
特になし

## ピアレビュー委員会（第2部会）

## 2018年度（対象年度：2017年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準4	教育課程・学習成果（2）
-----	--------------

総評	
0404 (2)	シラバスの記載項目については、授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等を明示し、第三者（専攻主任）による点検を実施していることは評価できる。[0404a] 今後、シラバスの記載内容の組織的な検証へと発展させていただきたい。
0404 (3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法について、今後は、第三者が理解できるような記述としていただきたい。
0404 (4)	研究指導計画を作成し、研究指導の方法および内容や年間スケジュールなどを学生に対して明示し、指導していることは、評価できる。[0404a]
0405 (1)(2)(3)	シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価、規定等に基づく単位認定のプロセス、成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認しているかについて、今後は、第三者が理解できるような記述としていただきたい。
0405 (4)(5)	修了要件ならびに学位論文の審査基準については、根拠資料により、適切に行っていることが確認できた。[0405c][0405d]
0405 (6)(7)(8)	学位授与については、「国際人間学研究科学位に関する内規」を明示し、研究科委員会において適切に行われていることが確認できた。[0405h]
長所・特色 <箇条書き>	
特になし	
留意点 <箇条書き>	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
0405	2018年度は、向上・改善に向けた取り組みと、成績評価に対しての指標・方法ができる組織作りに期待したい。【B】

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2018 年度 (対象年度 : 2017 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準4	教育課程・学習成果 (3)
-----	---------------

総評
<p>0406 (1)(2)(3) 学位授与の方針に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価するための方法の開発が望まれる。また、ルーブリックの活用、アンケート実施等、積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>0407 (1)(2) 教育課程およびその内容、方法の定期的な点検・評価について確認されていることが分かるよう、今後は、根拠資料に基づき、記述をしていただきたい。</p>
長所・特色 <箇条書き>
<p>0406 (3) 1年生の修士論文構想報告会、2年生の修士論文概要報告会等の学習成果として、質的な面から確認していることは評価できる。</p>
留意点 <箇条書き>
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>
<p>0406 学習成果を把握、評価するための方法の開発について、取り組んでいただきたい。【B】</p>

## ピアレビュー委員会（第2部会）

## 2018 年度（対象年度：2017 年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準5	学生の受け入れ
-----	---------

## 総評

0501 卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定めた教育を踏まえた入学者受け入れ方針（AP）を大学ホームページ、入試要項で統一した齟齬のない形で社会に対して公表しており、評価できる。[0501a]

0502 研究科の入試においては問題作成委員と面接委員を複数名の教員で担当することで、公正な入試者選抜を実施している点に対しては、根拠資料がないため、今後改善が必要。

0503 同研究科独自の進学説明会を年度内に3回実施し、研究科各専攻の求める人材像を入学志願者に示すと共に入学定員の確保に努めている点が評価できる。[0501・0503a] [0501・0503b] [0501・0503c]

0504 次年度の学生募集および入学者選抜方法の適切性についての自己点検・評価は、指標・方法などの検証を行い、第三者が理解できるような記述としていただきたい。

## 長所・特色 &lt;箇条書き&gt;

特になし

## 留意点 &lt;箇条書き&gt;

\*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項

【B】・・・検討を要する事項

0503 国際人間学研究科に独自の進学説明会を年度内に3回実施した結果について検討が必要である。【B】

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2018 年度 (対象年度 : 2017 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準6	教員・教員組織
-----	---------

総評
<p>0602・0603 研究科担当教員の資格に関して大学院研究指導の資格審査委員会を設置して審査し、その結果を研究科委員会に諮って審議しているなど、適切に教員組織を編成しており評価できる。ただし、根拠資料が不十分なため、今後改善が求められる。</p> <p>0604 国際人間学研究科としてFD活動を組織的に実施しており、研究科主催のシンポジウム2回、研究発表会2回行い、教員の資質向上および教員組織の改善・向上に繋げており、評価できるFD活動である。 [0604a][0604b]</p> <p>0605 次年度以降、教員組織の適切性についての点検・評価など、定期的に行われるよう取り組んでいただきたい。</p>
長所・特色 <箇条書き>
特になし
留意点 <箇条書き>
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>
0602 2018年度は、向上、改善に向けた取り組みと、適切な教員組織の編成を維持いただきたい。【B】

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2018 年度 (対象年度 : 2017 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準7	学生支援
-----	------

総評
<p>0702 (2)(4)(5) 学生の修学に関する適切な支援をおこなうことを目的に、主担当1名、副担当2名の計3名による指導教授体制をとっており、学生の相談に応じる体制の整備ができていることは評価できる。また、キャリア支援課と連携を取り、進路の対応を行っている点も評価できる。[0702a]          今後は、単位僅少者指導に資する情報項目の精査、収集及び共有について引き続き検討を進めていただきたい。</p> <p>0702 (6)(8) 今後の自己点検・評価の実施に当たっては、指標・方法などの検証を行い、根拠資料をもとに、第三者が理解できるような記述としていただきたい。</p>
長所・特色 <箇条書き>
特になし
留意点 <箇条書き>
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="margin-left: 150px;">【A】・・・緊急の改善を要する事項          【B】・・・検討を要する事項</p>
特になし



ピアレビュー委員会 (第2部会)

2018 年度 (対象年度 : 2017 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準8	教育研究等環境
-----	---------

総評	
0802 (1)	教育研究の環境整備については、人文学部と国際関係学部の2つの学部にもたがる研究科であるため、専攻を越えた学生同士の交流が行える環境と、公認心理師大学院カリキュラムに対応する大幅な環境整備が、今後の改善課題である。
0806 (1)(2)	2018 年度の事業計画と予算についての原案を作成し、検討を進められた点は評価できる。[0806a]
長所・特色 <箇条書き>	
特になし	
留意点 <箇条書き>	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0806	2018年度教育・研究に係る事業計画と予算に対する検証が必要ではないか。【B】

## ピアレビュー委員会（第2部会）

## 2018年度（対象年度：2017年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準9	社会連携・社会貢献
-----	-----------

## 総評

0902 (2) 社会連携・社会貢献に関する教育研究活動について学部との連携した取り組みがなされている。  
[0902a][0902b]

一方、在籍者数の理由からか、大学院独自の取り組みがみられないのは残念である。大学院独自の取り組みを検討されることで、さらなる大学院進学者増や現状の大学院生の意識の向上につながるものと考えられる。

0902 (3) 国際交流事業へ取り組みが明示されていなかったが、取り組みの計画・準備について具体的なものを挙げられるとよかった。（ヒアリング時の回答）

以上のことから、基準9の0902社会連携・社会貢献に関する教育研究活動および地域交流への参加などに概ね取り組んでいると判断できる。

## 長所・特色 &lt;箇条書き&gt;

0902 「一般市民向けの鶴舞公園のガイドツアーの実施」の長所・特色、成果となる点の記載があるとよい。  
(特色となる具体的な点、行ったことによる反響、成果、参加者の属性など)

## 留意点 &lt;箇条書き&gt;

\*各項に留意点レベルを記入

【A】・・・緊急の改善を要する事項
【B】・・・検討を要する事項

特になし

## ピアレビュー委員会（第2部会）

## 2018年度（対象年度：2017年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	国際人間学研究科
--------	----------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評
<p>1120 (2) 国際人間学研究科委員会の開催活動等については適切に取り組み検証されていると判断できる。 [1120a]</p> <p>一方、毎月行われている専攻主任連絡会についてはこれまで研究科委員会の議事整理であり議事録が作成されていなかったが、今後、議事録の作成を検討されるとのことで改善されるものと判断する。</p> <p>(ヒアリング事前回答)</p> <p>《長所・特色》《課題事項》についての記載がないが、今後、自己点検・評価を行っていく上で、良い取り組みについては挙げられるように、また課題については十分点検される必要があると考えられる。</p> <p>以上の結果から、基準 11 の委員会活動の検証については、課題の抽出という点からも十分適切に行われていると判断できなく、概ね取り組んでいると判断する。</p>
長所・特色 <箇条書き>
特になし
留意点 <箇条書き>
<p>*各項目に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>
1120 課題を抽出し、改善する策を行うことで長所・特色も表れることから、十分な点検を期待する。【B】